

議会だより



オンライン学習用タブレットの各種設定と附属品を確認する生徒たち
= 8, 9面 (民生文教常任委員会所管事務調査) に関連記事

第83号の掲載内容

- | | |
|-------------------------|----------------------|
| ○第3回定例会の概要…………… 2 P～4 P | ○全員協議会の概要…………… 7 P |
| ○質問の追跡調査…………… 4 P～5 P | ○委員会の活動…………… 8 P～9 P |
| ○一般質問…………… 5 P～6 P | ○会議の出席状況…………… 10 P |
| ○臨時会の概要…………… 6 P～7 P | ○議会の行事…………… 10 P |

発行/鹿部町議会 編集/鹿部町議会運営委員会 委員長 浦 梅吉 副委員長 高橋 茂夫
委員 千葉 光義 委員 船橋 敦子

〒041-1498 北海道茅部郡鹿部町字宮浜 299

TEL 01372-7-5296 (直通) FAX 01372-7-3086

～令和2年第3回定例会～

令和2年第3回定例会は、9月10日に招集され、会期を6日間と決め、2名の議員による一般質問が行われました。

また、条例4件、補正予算4件、認定5件、報告2件、同意4件、意見書案2件、その他議案3件の審議を行い、全て原案のとおり可決し、会期を4日残して閉会しました。

なお、審議された議案等の主な内容は、次のとおりです。

条 例

◆鹿部町手数料徴収条例の一部を改正する条例の制定について

情報通信技術の活用による行政手続等に係る関係者の利便性の向上並びに行政運営の簡素化及び効率化を図るための行政手続等における情報通信の技術の利用に関する法律の一部を改正する法律（デジタル手続法）の施行などにより、個人番号カード（マイナンバーカード）への移行拡大に伴い通知カードを廃止するため、本条例の一部を改正したものです。

◆鹿部町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について

放課後児童健全育成事業に従事する放課後児童支援員の要件である研修について、都道府県知事と指定都市の長のほか、中核市の長も行えることと緩和されたため、緩和要件を追加したものです。

◆鹿部町家庭的保育事業等

の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について

家庭的保育事業等での保育終了後の連携施設の確保を不要とする更なる緩和措置規定の追加と居宅訪問型保育の具体的な規定を定めるため、本条例の一部を改正したものです。

◆鹿部町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について

子ども・子育て支援法の改正に伴う改正と前述の鹿部町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正と同様に保育終了後の連携施設の確保を不要とする更なる緩和措置規定を追加するため、本条例の一部を改正したものです。

補 正 予 算

◆令和2年度鹿部町一般会計補正予算について

歳入歳出それぞれ8624万4千円を追加し、予算総額を54億2244万1千

議会を傍聴してみませんか ～次回定例会は12月上旬に開催予定～

傍聴の手続きは、傍聴席の入り口にある傍聴人受付簿に住所と氏名を記入するだけです。

なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、国の「新しい生活様式」と北海道の「新北海道スタイル」を鹿部町議会では推進しています。

傍聴の皆様にも感染症拡大防止のご協力とご理解をいただけますようお願いいたします。

円としました。

内容は、国の新型コロナウイルスウイルズ感染症緊急対策の第2次補正に係る各支援事業費などの追加が主なものです。

●質疑

学校施設の手洗は、温水化になるのか。

●教育長・生涯学習課長

幼稚園・中学校トイレの手洗は、温水化となっているため、今回の補正予算にて小学校トイレ手洗の温水化費用を計上したところで

●質疑

新型コロナウイルス感染症対策地方創生臨時交付金事業について、町民に分かりやすく広報などを利用してお知らせする考えはあるか。

●副町長

事業が完了次第、速やかに住民にもお知らせする形で進めたいと思っている。

◆令和2年度鹿部町国民健康保険事業勘定特別会計補正予算について

歳入歳出それぞれ5828万1千円を追加し、予算総額を8億520万円としました。

内容は、前年度決算剰余金繰越金の処分と国保システム改修業務委託料、インフルエンザ予防接種助成費用などの追加が主なものです。

●質疑

インフルエンザ予防接種助成費用に関し、65歳以上の方への周知方法として、

広報や防災行政無線での周知は行うのか。

●保健福祉課長

町民皆様への周知は、この後準備を進め、10月の広報で今年度のインフルエンザの対象、接種方法、助成金等をお知らせしていく予定となっております。

また、防災行政無線での周知についても準備をして、町民の皆様への周知方法として検討を進めて参りたいと思います。

●質疑

インフルエンザワクチンの確保は大丈夫なのか。

●保健福祉課長

町民皆様の分の確保というのには難しい現状と認識しており、各医療機関に入るワクチン数は前年実績に基づくと聞いていますので、医療機関等と今後調整

を図って参りたいと思っております。

◆令和2年度鹿部町介護保険事業特別会計補正予算について

保険事業勘定分の歳入歳出をそれぞれ478万円追加し、予算総額を3億9425万3千円としました。

内容は、生活支援サービスメニューの有料化に伴い生活支援体制整備事業報酬費の追加、令和元年度介護給付費交付金等の精算に伴い国庫支出金償還金などの追加が主なものです。

◆令和2年度鹿部町後期高齢者医療特別会計補正予算について

歳入歳出それぞれ56万1千円を追加し、予算総額を6456万1千円としました。

内容は、後期高齢者医療システム改修委託料を追加したものです。

その他の

◆北海道市町村総合事務組合規約の変更について

山越郡衛生処理組合ほか2団体が脱退することに伴い、当該組合の規約変更につ

いて、議会の議決を求めたものです。

◆北海道町村議会議員公務災害補償等組合規約の変更について

山越郡衛生処理組合ほか2団体が脱退することに伴い、当該組合の規約変更について、議会の議決を求めたものです。

◆北海道市町村職員退職手当組合規約の変更について

山越郡衛生処理組合ほか1団体が脱退することに伴い、当該組合の規約変更について、議会の議決を求めたものです

認定

◆令和元年度鹿部町一般会計歳入歳出決算認定について

◆令和元年度鹿部町国民健康保険事業勘定特別会計歳入歳出決算認定について

◆令和元年度鹿部町介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について

◆令和元年度鹿部町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について

報告

◆令和元年度鹿部町水道事業会計決算認定について
令和元年度一般会計と各特別会計の決算認定については、議長を除く全議員で構成する決算審査特別委員会を設置し、慎重に審査した結果、いずれも認定すべきものとされました。
なお、決算の主な内容は、広報しかべ10月号に掲載されています。

◆決算に関する附属書類の提出について
地方自治法の規定に基づき令和元年度鹿部町財産に関する調書と令和元年度における主要施策の成果説明書が提出されました。

◆令和元年度鹿部町財政健全化判断比率及び資金不足比率の報告について
鹿部町の財政に関しての各指標は、早期健全化基準を大幅に下回っており、健全運営されていると報告を受けました。

なお、判断比率の数値等は、広報しかべ10月号に掲載されています。

定例会・質問の追跡調査

同意（人事）

◆鹿部町教育委員会委員の任命について
令和2年9月30日をもって任期満了となる村田勝則氏の後任として、山部洋志氏（本別482番地57、71歳）が、起立多数により任命することと同意されました。

◆鹿部町固定資産評価審査委員会委員の選任について
令和2年9月16日をもって任期満了となる櫻田憲史氏の再任、同日で退任される小笠原功氏の後任となる松田克彦氏と川村光雄氏の後任となる飯田英和氏の3氏について、満場一致で選任することと同意されました。

- 櫻田憲史氏 42歳
字宮浜266番地1
- 松田克彦氏 62歳
字宮浜198番地12
- 飯田英和氏 55歳
字大岩39番地1

意見書の提出

次の意見書を可決し、関係省庁等へ提出しました。

◆新型コロナウィルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書について

【提出先】
衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、厚生労働大臣、経済産業大臣、内閣官房長官、経済再生担当大臣、まち・ひと・しごと創生担当大臣

◆国土強靱化に資する道路の整備等に関する意見書について

【提出先】
衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、国土交通大臣、国土強靱化担当大臣



質問の追跡調査

鹿部町議会では、議員の一般質問に対し、行政側が「検討したい」など即答をさける答弁をした場合、町長等は次の定例会で行政報告の最後に進捗状況や取組内容を報告する「一般質問の追跡調査制度」を試行的に実施しています。ここに掲載されている内容は、その要旨をまとめたものです。

●住民情報の効果的活用について (令和2年第2回定例会)

高橋 茂夫議員

■質問・答弁・取組状況

質問

住民の転出、転入時等の情報が、関係部署にタイムリーに提供されていないように思われますので、住民に寄り添ったサービス維持、また、安心安全の確保のためにも関係部署間の連携をより強化にすべきと考えますが、これらの実態と対策についてお伺いします。

答弁

より安心安全な対応に向けて庁内で協議させていたできたいと考えています。

●環境問題について (令和元年第3回定例会)

高橋 茂夫議員

■追跡調査中に関する取組状況

報を確認し、その情報に基づき避難行動要支援者名簿を更新する。
③南渡島消防事務組合への情報提供
構成市町により、提供可能回数などについて協議中。

追跡調査内容

町民の意識改革を図る意味で、ボランティア団体等によるゴミ拾い活動の状況等について広く周知するなど啓蒙活動を実施しながら意識改革を図って参りたい。

取組状況

○令和2年9月現在

令和2年3月末から6月にかけての町内会やボランティア等による清掃活動について、広報しかべ5月号から9月号までに掲載した。今後の活動についても、引き続き掲載し、意識改革を図っていくこととする。

質問の追跡調査・一般質問

●幼稚園の民間移行について

(令和元年第3回定例会)
高橋 茂夫議員

追跡調査内容

鹿部町らしい魅力あふれる教育及び保育環境を作り上げるため、識者のご意見を頂きながら現在検討を進めている。

取組状況

○令和2年8月現在
有識者から助言をいただき、公民に関わらず運営面や財政面について検討し、担当課としての方向性を決め、しかべ幼稚園建替検討委員会及び子ども・子育て支援会議において協議して、最終的に町として、しかべ幼稚園の現在の教育を引き継ぐことを前提に、運営面や財政面においてバランスの取れた保育環境を整備していく必要があるという考えから、民設民営の公私立連携幼保連携型認定こども園を整備するという方向性を決定した。

なお、今後は様々な決定すべき事項について、適宜議員の皆様提案させてい

たいただきたいと考えている。

●町内会ゴミステーションについて

(令和元年第3回定例会)
吉 英樹議員

追跡調査内容

今後、商工会等と連携し事業所等への指導徹底を図って参ります。

取組状況

○令和2年8月現在
事業系ごみの適切な処理方法については、広報しかべ3月号にて周知済みです。今後も改善状況を注視しながら、商工会等と連携し、指導徹底に努める。
※以上、3件の追跡調査内容に関する質問等は、議会日より第79号と第80号に掲載しています。



●公共交通の利用促進策について

(令和元年第4回定例会)
高橋 茂夫議員

追跡調査内容

高校生の子どもを持つ親の支援についても子育て支援策として考えて参ります。また、利用促進が図られるよう、今後も運営会社等継続的に協議・検討を進める。

取組状況

○令和2年8月現在
令和3年度のバス運行計画で町民ニーズに即した鹿部駅線のルート見直しとコミュニティバス路線を組み入れた路線バスとして運行を開始する予定としており、本格運行までに定期券や割引制度について検討して参りたい。

なお、高校生の子どもを持つ親の支援等については、「第2期鹿部町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の中で、引き続き協議・検討して参りたい。
※質問等は、議会日より第80号と第81号に掲載しています。



高橋 茂夫 議員

町内会・老人クラブ活動の活性化対策について

いたします。

■質問と答弁の要約

Q. 1

現状認識について。

A. 1

町内会は、現在、26町内会が組織され、各地区の清掃活動、交通安全、防災、年中行事、刊行物配布、高齢者福祉など、各単位町内会、それぞれできる範囲でのご協力をいただいている状況です。

次に、老人クラブは、現在、5つの老人クラブが組織され、高齢者の交通安全、園児・児童の小学校時の見守り活動、幼小中への雑巾贈呈のほか、高齢福祉行事などへの参画などを、主に連合会としてご協力をいただいています。

また、議員ご指摘のとおり、町内会、老人クラブともに、各単位組織、それぞれでできることに違いがあり、

その活動内容に差があることも認識しています。

Q. 2 今後の活性化について。

A. 2 まちづくりは、主権者である町民皆様为主体となり、町民皆様と行政が信頼と理解のもとに、つながり、協力していくことが重要と考えています。

その中で、町内会や老人クラブは、これまでも、大変、重要な役割を担っていただいております。町民活動の要となる存在であります。

また、他の活動団体についても、なくてはならない存在ですので、各団体の連

携を密にするため、組織のデータベース化や情報公開、また、活発な活動を実施している団体などへの補助金の拡充なども視野に議論を進め、町民皆様が参加しやすい環境整備に努めて参りたいと考えております。

Q. 3

町内会、老人クラブ、更には民生委員など、行政として意見を従来の縦割りではなく横断的にし、事業を進めるべきだと思いますが。

A. 3

今後、連携を密にし、そして横断的な環境整備に努めて参りたいと考えています。



町道などの除排雪について

町では、除雪実施基準を定め、除雪などを適時実施していますが、他市町村と比べ鹿部町は、丁寧な除雪であると承知しているところでもあります。

丁寧な除雪は、町民から喜ばしい反面、除雪経費が増嵩するおそれがあり、限りある財源の中で適正配分に疑問を感じるところです。そこで、なぜそこまで丁

丁寧な除雪が必要なのか、町長の見解をお伺いします。

■質問と答弁の要約

Q. 1

丁寧な除雪が必要なのか。

A. 1

除雪基準は、一般的な基準であり観測基準点を設け、基本的には10cmの降雪、また、吹き溜まりなど、路面状況に応じて出動するというものを採用しています。このようなことから、現在の除雪体制は、鹿部町の現状を勘案した、適正な除雪であると認識しています。

なお、今後も、より適正な除雪を行うため、基準や体制の在り方について、各関係機関は基より、町民皆様の声などに耳を傾け、更なる改善等を通じて参りたいと考えています。

Q. 2

私道を除雪してるが、これからも私道の除雪を行うのか。

A. 2

町内の私道については、生活路線として緊急車両等、支障があるような部分については町の方で除雪を行っている状況です。今後は、防災部局とも協

議しながら、各場所等も検討していかなければと考えています。

Q. 3

除雪費を安くするために改革しなければならぬと思うが。

A. 3

今後も、より適正な除雪を行うため、基準や体制の在り方について、各関係機関はもとより、町民の民様の声などに耳を傾け、更なる改善等を通じて参りたいと考えています。

Q. 4

今までもどおりの除雪であれば、除雪経費が高むため、鹿部独自に除雪税などを創設し、町民にも負担してもらう考えはないのか。

また、住民サービスのために行うことはいいことだが、お金をいくらでもかけてもよいことにはならないと思うため、町長もこれから除雪のことについて色々考えていただきたいが。

A. 4

経費の節減については、改善に含め、考えていきたいと思っています。また、除雪税などに関しては、議員のご意見として

承りたいと思います。

Q. 5

漁港内に雪を捨てているが、管理型漁港を造つた意味が無いと思うが。

A. 5

町で委託してる業者は、漁港内には雪を捨てていないと認識していますが、議員ご指摘の件に関し、しっかり確認し、もしそれが本当であれば是正に向けて対処して参りたいと思います。

令和2年第3回臨時会は、7月28日招集され、次の案件について審議されました。

承認
◆令和2年度鹿部町一般会計補正予算専決処分報告の承認について
令和2年7月14日付けで専決処分したもので、主な内容は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響に伴う国の緊急経済対策である「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金（2次分）」の補正に伴い、町支援策①地域医療事業者

等への経済支援②非商工会
員事業者への経済支援③し
かべ応援券（住民一人当た
り1万円分商品券配付）④
プレミアム付商品券（30%）
⑤漁業支援策など、1億9
86万4千円を追加したも
のです。

補正予算

◆令和2年度鹿部町一般会
計補正予算について

歳入歳出それぞれ968
万5千円を追加し、予算総
額を53億3619万7千円
としました。

内容は、漁業協同組合が
実施するホタテ養殖施設強
靱化事業に対する補助金や
小・中学校の感染症と熱中
症予防対策に関する備品な
どを購入する費用を追加し
たものです。

●質疑

水産種苗の昆布とホタテ
1軒当たりの購入額は。

●水産経済課長

昆布種苗は、前年度の実
績、1軒当たり19万9千円
の4分の3を支援すること
とし、ホタテは購入実績の
確認が取れていない状況で
すが、漁組と確認し、1軒

当たり限度額を30万円と決
めました。

その他

◆財産の取得について

【財産の名称等】

児童生徒用タブレット
PC等一式260台（小
学校168台、中学校92
台）

【取得金額】

1468万5千円

【取得の相手方】

株式会社近藤商会

【以上3件原案のとおり承
認・可決】

令和2年第4回臨時会は、
10月9日招集され、次の案
件について審議されました。

その他

◆工事請負契約の締結につ
いて

【工事名】

鹿部町役場新庁舎建設
工事（外構その1）

【契約金額】

8195万円

【契約の相手方】

吉建設株式会社

◆工事請負契約の締結につ
いて

【工事名】

鹿部町役場新庁舎建設
工事（外構その2）

【契約金額】

6245万4千7百円

【契約の相手方】

株式会社巨栄

●質疑

工期について。

●総務・防災課長

令和2年10月9日から令
和3年3月31日まで。

●質疑

冬期間であり、寒さによ
る不具合が出る可能性も
あるが、その場合の責任は。

●建設水道課長

業者側に責任がある場
合、業者対応となるが、凍
上のおそれがある部分など
は、先に路盤を進めるなど、
不備がないよう指導を行う。

●質疑

瑕疵担保期間は。

●建設水道課長

1年間であり、以降は瑕
疵内容により協議となる。

◆財産の取得について

【財産の名称等】

小型バス1台（全長6.
99m、全幅2.08m、乗
車定員33名）

【取得金額】

2530万円
【取得の相手方】

函館日野自動車株式会
社

◆財産の取得について

【財産の名称等】

鹿部町役場新庁舎ハン
ドル式移動棚一式

【取得金額】

2453万円

【取得の相手方】

中川本店

◆財産の取得について

【財産の名称等】

鹿部町役場新庁舎議場
音響等設備一式（音響設
備、表示設備、映像設備）

【取得金額】

2055万9千円

【取得の相手方】

北海道市町村備荒資金
組合

◆財産の取得について

【財産の名称等】

鹿部町役場新庁舎サ
ーバ室防震装置一式（サ
ーバラック及び防震装置）

【取得金額】

759万円

【取得の相手方】

ファーストクラウド株
式会社

【以上6件原案のとおり可
決】

議員全員協議会

◆令和2年第6回議員全員
協議会

○開催年月日

令和2年7月28日

○議題

1 鹿部町地域公共交通運
行計画（案）について

地域公共交通活性化協議
会の運行計画の承認を踏ま
え、今後の費用を含めた運
行計画等について説明を受
けました。

2 鹿部町職員住宅整備計
画（案）について

老朽化した職員住宅の環
境改善について説明を受け
ました。

◆令和2年第7回議員全員
協議会

○開催年月日

令和2年8月31日

○議題

新型コロナウイルス感染
症拡大防止対応地方創生臨
時交付金（第2次補正分）
について

新型コロナウイルス感染
症に関する国の第2次補正
分に係る急を要する事業以
外の支援制度案について説
明を受けました。

臨時会・議員全員協議会

総務経済常任委員会 所管事務調査

◇調査年月日

令和2年7月29日

◇調査事項

町税及び国民健康保険税の収納状況について

◇調査方法

担当課より関係資料に基づき説明を受け、調査を実施した。

◇調査の結果

○町税の収納状況

鹿部町の自主財源である町税は、歳入全体の約14%を占めるものであり、その令和元年度の町税（町道民税個人分、町民税法人分、固定資産税、軽自動車税、町たばこ税及び入湯税）の収納状況（現年度分）は、令和2年5月末現在では、調定額5億1560万4千130円に対して収入済額5億108万3千667円となっており、収入未済額1452万463円、収納率97.18%となっている。前年同時期と比較すると、収入済額で2051万6千331円の増、収入未済額で371万7千770円の増となり、収納率は0.

62ポイント低下している。

同じく令和元年度の滞納繰越分については、調定額5340万9千17円に対して、収入済額は1023万3千346円、不納欠損額は239万693円となっており収入未済額は4078万4千978円、収納率19.16%となっている。前年同時期と比較すると、収入済額で786万4千723円の減となっているが、不納欠損額では41万261円の減、収入未済額も185万9千746円の減となっており、収納率は9.32ポイント低下している。

なお、現年度分と滞納繰越分を合算すると、収入済額では1265万1千608円の増であるものの収入未済額は185万8千24円の増となっている。

○国民健康保険税の収納状況

令和元年度の収納状況（現年度分）は、調定額2億2211万2千6百円に対して収入済額2億61万3千862円となっており、収入未済額2149万8千738円、収納率90.32%となっている。

前年同時期と比較する

と、収入済額で729万1千360円の増、収入未済額では614万7千740円の増となり、収納率は2.32ポイント低下している。

また、令和元年度の滞納繰越分では、調定額6960万2千224円に対して、収入済額は1590万2千350円、不納欠損額は174万7千596円となっており、収入未済額は5195万2千278円、収納率22.85%となっている。

前年同時期と比較すると、収入済額で484万3千495円の減となっており不納欠損額では45万5千949円の減、収入未済額も242万3千122円の減となっており、収納率は3.98ポイント低下している。

なお、現年度分と滞納繰越分を合算すると、収入済額では244万7千865円の増であるものの収入未済額は372万4千618円増えている。

◇調査意見

町税及び国民健康保険税ともに、現年度分の収入済額は増加しつつも収入未済額が増え徴収率が下がって

いる。また、滞納繰越分については、収入済額、収納率が下がっているが、収入未済額は減少している。滞納の解消に向けた取り組みについては、広報誌への掲載、防災無線を利用したの注意喚起を行い、悪質な滞納者には財産の差押えに加え、渡島・檜山地方税滞納整理機構へ徴収の依頼をしている。

町税は、町財政の根幹をなす貴重な自主財源であり、自主財源の確保を行ううえで課税客体の把握に努めるとともに、かつて広報誌等に掲載されていた前月の町税及び国民健康保険税の納付額や入湯税の利用者数及び納付額を再掲載することで、町民に広く現状を知っていただき町税に対する関心や納税意欲の向上につながることも期待されるため、改めて啓発活動などを検討されたい。また、税負担の公平性を期すためにも、今後も継続的に徴収体制の強化徹底を図り滞納の解消に努められたい。

なお、国民健康保険税は、病気やケガをした場合に安心して医療を受けられるよ

う、加入者が保険税を納め、医療費の負担を支え合う相互扶助の制度であるため、町税同様に制度の啓発活動を行うとともに、税負担の公平性を期すために滞納の解消に努められたい。



鹿部町議会だより

民生文教常任委員会 所管事務調査

◇調査年月日

令和2年7月30日

◇調査事項

GIGAスクール構想の概要について

◇調査方法

担当課より関係資料に基づき説明を受け、調査を実施した。

◇調査の結果

鹿部町教育委員会では、ICT（情報通信技術）の活用として、GIGAスクール構想とオンライン学習環境整備の二本立てにより施策を展開しているため、オンライン学習環境整備を含めた調査を実施した。

○背景及び目的

ア GIGAスクール構想
教育におけるICTを基盤とした最先端技術の効果的な活用が求められている一方、現在の学校ICT環境の整備は遅れており、全国一律のICT環境整備が急務となっている。

このことから、学校に1人1台の端末と高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備し、学習活動の一層の充実等を図り、多様な子どもの資質能力を一層確実に育成することを目的としている。

イ オンライン学習環境整備

新型コロナウイルス感染症の感染防止による学校の臨時休業が長期化し、今後更なる臨時休業の可能性もあり、児童生徒の学習機会の確保が課題となった。

家庭等で使用可能な端末を1人1台貸与し、更なる臨時休業時においても学校と児童生徒がつながることを可能とし、家庭での学習機会の保障と家庭学習の定着、基礎学力の定着を図ることを目的としている。



○導入費用

ア GIGAスクール構想
校内通信ネットワークの整備
2343万円

・児童生徒用端末の整備
1822万8千円

イ オンライン学習環境整備

・家庭等で使用可能な端末の整備
752万3千円

・通信環境のない等の家庭へのルーター貸出
254万1千円

・臨時休業時における学校・家庭の接続

213万5千円
○導入効果（想定）

ア GIGAスクール構想
すぐにでも・どの教科でも・誰でも使えるICT環境を整備することにより想定される効果

・子ども達一人一人の反応を踏まえたきめ細かな指導等、双方向型の授業展開が可能になる。

・一人一人の教育的ニーズ・理解度に応じた個別学習や個に応じた指導が可能になる。

・全ての子どもが多様な情報に触れ、多角的に考察し表現する学習が可能となる。

イ オンライン学習環境整備

いつでも・どこでも学習でき、つながることができICT環境を整備することにより想定される効果

・全ての児童生徒が家庭でオンラインを活用した学習が可能となる。

・家庭学習の継続による学習習慣・基礎学力の定着を図ることができる。

・緊急時に学校と子ども達をつなぐ手段を確立することができ。

○GIGAスクール構想における新学習指導要領との関連性
情報教育・ICT活用教育関係ポイント

ア 小中学校共通ポイント
情報活用能力が、言語能力、問題発見・解決能力等と同等に「学習の基盤となる資質・能力」と位置付け。

・各学校において、コンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段を活用するために必要な環境を整え、これらを適切に活用した学習活動の充実を図る。

イ 小中学校別ポイント
小学校
文字入力など基本的な操作を習得、新たにプログラミング的思考を育成する。

中学校
技術・家庭科（技術分野）においてプログラミングに関する内容を充実する。

◇調査意見

GIGAスクール構想では、高速大容量の校内ネットワークを整備し、児童生徒に1人1台の端末を使用した授業が展開され、どの教科においても、オンライン

ンでの協働学習、調べ学習等が学年・個人で可能となり、教科の学びを深めること、教科の学びをつなぐことが可能となる。

また、オンライン学習環境整備では、通常時において、学習支援ソフトを活用し、教員が児童生徒の学習状況が確認でき、児童生徒は家庭学習（学校の宿題）でタブレット学習を行い、

臨時休業時にはテレビ会議システムの利用により教員が児童生徒の健康状況を確認できるなど、双方向の関係が可能となる。

ICTを活用した更なる学習環境の整備となるが、ICTを理解・操作する能力の向上が、児童生徒だけではなく教員や保護者にも求められるものであるため、ICT支援員の活用など、きめ細かな対応を望むものである。

また、将来を担う鹿部の子どもたちの育成のため、学習環境の更なる充実を期待するものである。

※ 誌面の都合により一部内容を省略していますので、予めご了承ください。

令和2年7月～10月 本会議、各委員会等の出席状況

(○は出席、×は欠席(病欠含む)、△は遅刻・早退、—は該当なし)

会 議	高橋 茂夫	吉 英樹	千葉 光義	野田 重毅	船橋 敦子	中川 —	浦 梅吉	佐藤 頼幸	三谷 百十樹	川村 裕司
議会運営委員会 (7/28)	○	—	○	—	○	○	○	—	—	—
令和2年第3回臨時会 (7/28)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第6回議員全員協議会 (7/28)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
総務経済常任委員会所管事務調査 (7/29)	—	○	○	○	—	○	○	—	—	○
民生文教常任委員会所管事務調査 (7/30)	○	—	—	—	○	○	—	○	○	—
第7回議員全員協議会 (8/31)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議会運営委員会 (9/7)	○	—	○	—	○	○	○	—	—	—
令和2年第3回定例会 (9/10) 1日目	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
決算審査特別委員会 (9/11)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和2年第3回定例会 (9/11) 2日目	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議会運営委員会 (10/9)	○	—	○	—	○	○	○	—	—	—
令和2年第4回臨時会 (10/9)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議会運営委員会(議会だより編集 10/19)	○	—	○	—	○	○	×	—	—	—

議会の行事

7月

- 22日 令和2年度第1回鹿部町での地熱発電を考
える検討会 (議長及び関係議員)
- 28日 議会運営委員会 (全委員及び議長)
第3回臨時会 (全議員)
第6回議員全員協議会 (全議員)
- 29日 総務経済常任委員会所管事務調査
(全委員及び議長)
- 30日 民生文教常任委員会所管事務調査(全委員)

8月

- 18日 北海道議会民主・道民連合議員会「渡島地
域政策懇談会」 (議長及び関係議員)
- 28日 南渡島消防事務組合第2回議会定例会
(関係議員)
- 31日 第7回議員全員協議会 (全議員)

9月

- 7日 議会運営委員会 (全委員及び議長)
- 10日 第3回定例会(1日目) (全議員)

- 11日 決算審査特別委員会 (全委員)
第3回定例会(2日目) (全議員)
- 14日 前衆議院議員前田かずお政経セミナー
(議長)
- 26日 参議院議員長谷川岳政経セミナー (議長)
- 28日 大漁祈願祭 (議長)

10月

- 6日 南渡島消防事務組合第1回議会臨時会
(関係議員)
- 9日 議会運営委員会 (全委員及び議長)
第4回臨時会 (全議員)
- 12日 鹿部町合同意見交換会(水産分野)(全議員)
- 16日 渡島町村議会議長会臨時総会 (議長)
- 19日 議会運営委員会 (全委員及び議長)
- 23日 渡島廃棄物処理広域連合議員全員協議会・
第2回議会定例会 (関係議員)
- 26日 総務経済・民生文教常任委員会合同所管事
務調査 (全委員)